

東高同窓会報



同窓会会長
藤田長久

ごあいさつ

同窓会員並びに学校関係者の皆様方におかれましては、益々ご清祥にて、各方面で限らないご活躍の事とお慶び申し上げます。

平素は、津山東高等学校同窓会並びに母校の充実発展に格別のご理解・ご協力・ご支援を賜り、心から深く感謝申し上げます。

今年度は、スタート早々、新型コロナウイルス感染症拡大の第一波が押し寄せ、政府は「緊急事態宣言」を発令する等、厳しい一年で有りました。本同窓会も、コロナ禍

の中の運営でありました。今年度は役員改選期に当たり、五月の役員会で役員若返りを念頭に改選を行いました。令和二年度(令和三年一月三日)の総会・懇親会も感染拡大を懸念し、中止と言う苦渋の選択を致しました。総会が開けない事態です。役員会の決定を持って、新役員でのスタートとさせて

頂きます。(後のページに紹介)会員の皆様には、ご了承頂きますようお願い申し上げます。

令和三年度(令和四年一月三日)の総会・懇親会は、令和二年度の当番幹事が担当する事となり、今後の幹事団は一年遅れとなります。次年度は、コロナ禍も明るい方向に進み、より盛大な総会・懇親会を開催したいと考えています。会員各位の多数のご出席をお願いいたします。

また、二月二十七日には、同窓会合同入会式を挙行し、新進気鋭な新会員一九四名を迎え、更なる勢いを増して、本会の発展を期しました。我々同窓会も時代の流れを鑑み、今後一層の充実に向けて新たな決意を持って邁進したいものです。母校も、創立七十二年目を歩む中、新型コロナウイルス感染症拡大防止を第一に学校教育が展開されましたが、学校行事や対外行事の中止、延期、縮小を余儀なくされ、生徒達も初めて体験し、苦慮の連続の一年でした。今年度は園田哲郎新校長を迎え、栄えある伝統の下、生徒達は各方面で輝かしい活躍を見せ、特

発行 津山東高同窓会
編集 藤田長久
印刷 株式会社 成福印刷
発行所 津山市

筆すべきは、国公立大学へ多数合格、全国料理コンクール入賞、看護師国家試験の高い合格率、学校と地域社会との連携事業「行学」の取り組み、更には文化・体育部の全国・中国大会へ出場等、目覚ましい成果を挙げてくれました。

母校の活躍は我々を勇気付けてくれます。我々同窓会も更なる支援を重ねて参りたいと思っております。今や、第三波の新型コロナウイルス、更には「コロナウイルス変異種」が押し寄せ、憂慮しております。一日も早い終息を希うところです。

どうか同窓会員始め「津山東高校」の発展に思いを寄せる多くの皆様、今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。と共に、母校の益々の隆盛と、母校関係者並びに同窓会員皆様のご活躍を健康・ご多幸・ご活躍をご祈念申し上げます。ごあいさつと致します。

ごあいさつ



校長
園田哲郎

同窓会の皆様には、ますますご健勝で日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。平素から母校津山東高校発展のために多大なるご支援とご協力をいただき、心から感謝いたします。

私は、桑元秀明前校長の後任として今年度着任いたしました園田哲郎と申します。本校に勤務するのは初めてですが、林田小学校出身の地元民でありまして、幼い頃から馴染みのある本校に赴任できましたことを光栄に存じております。本来でしたら正月三日に、自宅から徒歩五分の津山鶴山ホテルで皆様にご挨拶させていたたくところでしたが、それがかなわず誠に残念に思っております。来年こそはたくさん同窓生の皆様に直接ご挨拶できることを心から願っております。

さて、今年度はコロナ禍の影響を受けられた同窓生の方も多いのではと案じております。本校でも長期の臨時休業や修学旅行の中止、東雲祭の縮小開催など大きな影響を受けておりますが、その中で生徒たちは、冷静に、そして明るくたくましく学校生活を送っております。昨春岡山大学始め国

公立大学に二十名が合格するなど進学実績を伸ばしている普通科、全国レベルの料理コンクール入賞を続ける食物調理科、高い国家試験合格率を誇る五年一貫の看護科、専攻科の生徒たちは、お互いにリスペクトし合いながら自己研鑽を積んでおります。

私は、東高の存在感はこのコロナ禍でも発揮されていると考えております。人々の生命を守る医療従事者を育成する看護科・専攻科の重要性は申すまでもありませんが、免疫力を高めるメニューの考案など食の面で健康を支える食物調理科、総合的な探究の時間「行学」で医療や福祉など地域の課題解決に真剣に取り組んでいる普通科の存在も、地域社会の未来に明るい希望を与えていると誇らしく思います。これもひとえに、同窓生の皆様が営々と築いてくださった本校の歴史と伝統の賜物と心から感謝申し上げます。現在は校内に無線アクセスポイントが整備され、来年度入学生から一人一台端末による学習活動が始まるなど、デジタル時代に対応した最新の教育環境も整いつつあります。

一方で、少子化により津山地域の高校進学者数は減少の一途をたどり、令和3年度入学者選抜から普通科体育分野が募集停止となるなど、本校にもその影響が及んでおり

ます。本校としては今後一層学校の魅力づくりに努め、地域になくてはならない高校として存在意義を高めてまいりたいと存じます。同窓生の皆様には、引き続き母校への深いご理解と温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

末筆ながら同窓生の皆様の今後ますますのご健康とご多幸をお祈りしてご挨拶とさせていただきます。



学校の現況

教頭 三 牧 知 子
山 部 信 弘

同窓会員の皆様にはますます御清祥の段、衷心よりお慶び申し上げます。また、平素から本校教育の充実のために御支援を賜り、誠にありがとうございます。ここでは本校の現況について御報告したいと存じます。

一 今年度の学校経営計画

本校教育目標である「信頼と愛情に結ばれた教育を重視し、明るく活力のある学校づくり」に努め、地域に根ざした教育活動に励むとともに、平和な民主社会を築きあげる豊かな人間性を育成する。を基に、津山東高校で身に付けさせたい「論理的思考力」「コミュニケーション能力」「課題発見・解決能力」の育成を重要な課題に掲げ、「殻を破ろう、人と繋がるう」をキャッチフレーズに、具体的な学校経営目標・計画として次の五つの柱を定めて、部・室、各学年及び各教科等において目標を達成するべく取り組んできました。

(一) 個を大切にしたい

細かい指導による学力向上と進路実現
(二) 健やかな心身の育成
(三) 地域連携や教科・特別活動・総合的な探究の時間によるローカル人材やグローバル人材の育成
(四) 校内組織の活性化と情報発信による保護者や地域社会との信頼関係の構築
(五) 地域医療に貢献する使命感・倫理観を持った看護師の育成

(専攻科)

今年度は、年度当初に臨時休業期間が続く中、オンラインプラットフォームを活用した学習指導や健康観察、学校が再開してからは「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」学校の新しい生活様式」に基づき、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で、様々な教育活動に取り組んでまいりました。

社会状況の変化に合わせた

今年度は、年度当初に臨時休業期間が続く中、オンラインプラットフォームを活用した学習指導や健康観察、学校が再開してからは「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」学校の新しい生活様式」に基づき、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で、様々な教育活動に取り組んでまいりました。

度当り

今年度は、年度当初に臨時休業期間が続く中、オンラインプラットフォームを活用した学習指導や健康観察、学校が再開してからは「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」学校の新しい生活様式」に基づき、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で、様々な教育活動に取り組んでまいりました。

今年度は

今年度は、年度当初に臨時休業期間が続く中、オンラインプラットフォームを活用した学習指導や健康観察、学校が再開してからは「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」学校の新しい生活様式」に基づき、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した上で、様々な教育活動に取り組んでまいりました。

二 生徒の状況

(一) 学科構成と生徒在籍数

学 科	1 年	2 年	3 年	専 1 年	専 2 年
学 普 通 科 (含 体 育 分 野)	119	120	117		
食 物 調 理 科	36	40	39		
看 護 科 ・ 専 攻 科	36	39	38	40	31
学 年 合 計	191	199	194	71	
計				655	

(二) 生徒の居住地等

令和三年一月一日現在
大半は津山市を中心とした美作地域ですが、食物調理科と看護科では岡山市、赤磐市など県南部から入学する生徒もいます。

(三) 進路状況

普通科は大学等への進学希望者が大半で、一部就職を希望する生徒もいます。令和二年三月卒業生は国立大学に三十名(このほか専攻科二名)

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を新入生・保護者・教職員に限定し、四月八日(水)午後二時から、第一体育館において令和二年度入学式を挙行しました。園田哲郎校長から第一学年一九二名と専攻科一年生三十九名が入学許可を受けました。

(四) 修学旅行

今年度は、六月十六日から十九日まで三泊四日の日程で、東京方面への修学旅行を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、予定変更を余儀なくされました。その後、九月に南九州方面での実施を検討しましたが、全国的に感染状況からやむなく中止となりました。地域の感染状況をしながら、代替旅行を検討しているところです。

今年度は、年度当初の臨時休業期間に伴う家庭学習の充実とオンライン学習による学力保障を目的に、四月に学校独自の学習支援クラウドサービス(Class2)を導入し、五月には県下一斉の運用となった教育機関向け無料ア

(五) 教科指導の充実

今年度は、年度当初の臨時休業期間に伴う家庭学習の充実とオンライン学習による学力保障を目的に、四月に学校独自の学習支援クラウドサービス(Class2)を導入し、五月には県下一斉の運用とな

今年度は、年度当初の臨時休業期間に伴う家庭学習の充実とオンライン学習による学力保障を目的に、四月に学校独自の学習支援クラウドサービス(Class2)を導入し、五月には県下一斉の運用とな



例年と違う形での入学式でしたが、大きな希望と期待を胸に、新入生は清らかな気持ちで式に臨み、厳粛な入学式となりました。

(六) 地域連携

本校では、「行学(総合的な探究の時間)」の時間を中心に、地域社会と連携し、地域や社会に目を向けさせ、地域に向いてフィールドワークを行い、地域の課題について改善策を提案・実践する力を身に付ける探究活動を行っています。これにより地域への理解を深めるとともに、主体性や自己肯定感、社会の一員として地域に貢献する態度を養っています。昨年度から地域コーディネーターを導入し、今年度は三名の方に御協力いただきながら前年度までの活動をブラッシュアップした形で実施していく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、年度当初の計画どおりにはいきませんでした。学校再開後は、感染症対策を

「C smile for education」を導入し、それぞれの利点を活かしながら教育活動に活用してまいりました。今年度は年二回の公開授業週間に校内のみとし、十月には「授業でのICT活用の方法」をテーマとした校内研修を実施しました。公開授業週間には、お互いの授業を参観し合って研鑽を積みました。研修では、来年度入学生から実施を予定している「生徒一人一台端末の導入」を意識し、参加教員が生徒役となつて、リアルタイムでのオンライン授業を体験しました。

徹底させた上で、一年次の「SIM津山プロジェクト」や、2年次の「地域プロジェクト」「企業動画」等の活動を実施することができました。この活動から発展し、自主的に地域でのボランティア活動等に参加することができました。



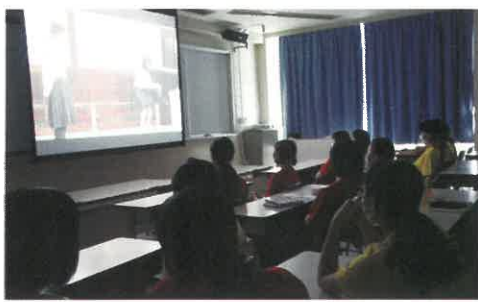
(五) オープンスクール

今年度は、十月十日(土)に、七月末に予定していたオープンスクールを、例年十月に実施していた進学説明会と同時開催の形にして、中学校三年生対象進学説明会&オープンスクールとして、全学科で開催しました。七月には、オープンスクールが開催できない代わりに、中学生に向けて、本校ホームページから閲覧できる「学科紹介動画」を作成配信しました。

生との懇談会等を内容とし、県内各地の中学校から中学生三百四十一名、保護者百六十五名、合計五百六名の参加がありました。また、オープンスクールには多くの在校生が、ボランティアとして参加してくれました。

(六) 東雲祭

今年度の「東雲祭」は、体育の部を中止し、九月四日(金)午前に、動画視聴を中心とした文化の部のみを開催しました。ホームルーム教室等で、書道パフォーマンス、演劇部制作のDVD、応援チアパフォーマンス、体育分野集団演技、有志団体等の動画を視聴しました。



また、コモンホールや事務室前、生徒昇降口には、美術部、書道部、図書委員会、看護クラブ、写真同好会、生徒会が、展示を行いました。九月一日(火)には、吹奏楽部による前庭コンサートの開催もありました。今年度

は、文化の部当日に、団ごとにデザインして制作した「東雲祭Tシャツ」を本科生全員が着用し、東雲祭気分を盛り上げました。



(七) 国際交流

本校では学校経営目標に国際交流や英語活動等を通じたグローバル人材の育成を掲げ、生徒の短期海外留学や海外派遣の推奨に力を入れていきます。今年度は、昨年度本校との姉妹校縁組を締結したカナダの「ケロウナセカンダリスクール」との交流のため、十二月にカナダのブリティッシュコロンビア州を訪問する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響でやむなく来年度へ延期となりました。現地での交流はかないませんが、生徒約三十名が、紹介カードを郵送してメール返信をもらったり、オンラ

インで交流したりすることができました。また、国際理解教育の一環として、今年度は、普通科一・二年生を対象に、「EUがあなたの学校にやってくる」の行事を開催し、駐日ラトビア共和国大使館特命全権大使に、欧州連合(EU)やラトビアについて御講演いただきました。

今後も国際的視野を持ったグローバル人材の育成に力を入れていきたいと思えます。



(八) 部・同好会等の活躍

今年度の部活動加入率は、男子九四%、女子七一%(昨年度、男子九〇%、女子八〇%)です。今年度十二月までの主な成績を紹介いたします。()内は学年。

- 【全国大会】**
陸上競技部
○二〇二〇全国高等学校リモート陸上競技選手

- 権大会
男子四〇〇m二十七位
小川 拓人(3)
- 全国高等学校陸上競技大会二〇二〇
男子四〇〇m予選六着
小川 拓人(3)

- 【書道部】**
全国書画展覧会運営委員会主催第四十一回ふれあい書道展
奨励賞 鮎美 (3)
近藤 鮎美 (3)
敢闘賞 久安 舞子 (2)

- 【食物調理科】**
第十八回インスタントラーメンオリジナル料理コンテスト二〇二〇優勝
笠井萌々香 (3)

- 第三回高校生和食料理コンテスト
特別賞 津村和心美 (2)
特別賞 ビコンテスト
日下 京華 (2)(3)
小林 晴華 (2)(3)

- 第二回春休み高校生料理コンクール IN KOBE 決勝進出ペア
森木 巧真 (3)(3)
小林 大真 (3)(3)

- 第七回豆乳レシピ甲子園最秀賞
石坂日花里 (3)

- 【中国大会】**
陸上競技部
第七十四回中国五県陸上競技対抗選手権大会出場権獲得(中止)
男子四〇〇m

- 男子二〇〇m
小川 拓人 (3)
- 第二十九回中国高等学校新人陸上競技対校選手権大会(リモート)出場権獲得(中止)
男子やり投げ
八木 音皇 (2)
女子走幅跳び
小林 晴華 (2)

- 【剣道部】**
第二十二回中国高等学校校剣道新人大会(R元)出場権獲得(中止)
女子団体
小林 紗良 (2)
楢原 愛結 (2)(2)
柚本 美穂 (2)(2)
坂手 梓 (1)(1)

- 第二十三回中国高等学校校剣道新人大会
出場権獲得
女子個人
原田寿美伶 (1)(2)
村山 聖来 (1)(2)

- 【少林寺拳法】**
第二回中国高等学校少林寺拳法新人大会
出場権獲得(中止)
女子単独演武の部
床本 梓 (1)

- 【県大会ベスト8以上】**
陸上競技部
第六十六回岡山県陸上競技選手権大会兼第一
五回日本陸上競技選手権大会岡山県予選会
男子二〇〇m 三位
男子四〇〇m 五位
小川 拓人 (3)

岡山県高等学校総合体

育大会代替大会陸上競
技の部兼全国高等学校
リモート陸上競技選手
権大会(岡山県指定大会)

第五十三回岡山県高等

学校陸上競技選手権大会
男子四〇〇m 一位
男子八〇〇m 四位

第三回岡山県陸上競技

記録会
男子四〇〇m 二位
小川 拓人 (3)

第六十八回岡山県高等

学校新人陸上競技大会
兼第二十九回中国高等
学校新人陸上競技対校
選手権大会岡山県予選
会(リモート大会)

男子一〇〇m 八位
伊藤 琉汰 (2)

男子四〇〇m 七位
大畑 和葉 (1)

男子やり投げ 一位
八木 音皇 (2)

女子走幅跳び 二位
小林 晴華 (2)

岡山県高等学校総合体

育大会代替大会
女子団体 三位
小林 紗良 (3)

楮原 愛結 (3)

楮本 美穂 (3)

坂手 梓 (2)

原田寿美伶 (2)

女子個人 ベスト八
楮原 愛結 (3)

少林寺拳法

第三十一回岡山県高等
学校少林寺拳法新人大会

女子単独演武の部四位

床本 梓 (1)

演劇部

第七十回岡山県高等学
校演劇発表会兼第四十
四回岡山県高等学校総
合文化祭演劇部門
優良賞

食物調理科

牛乳・乳製品利用料理
コンクール
優良賞
牧原直太郎 (2)

宮川 愛斗 (3)

おわりに

全国的に中山間地域に
ある高等学校は生徒募集
に苦慮している中、本校
は県北の多くの中学生や
その保護者にとって「行
きたい学校」という高い評
価をいただいています。こ
れは本校に現在通って来
てくれている生徒たちの
活躍等に対する評価であ
ると同時に、本校を巣立
っていった卒業生の社会
での活躍に対する評価で
あると感じております。

このような良い評価を今
後もいただけるように、
教育内容を毎年見直し、
時代の流れに沿った教育
体制を整え、地域社会に
貢献できる人材の育成を
行うことができるよう努
力をしてまいります。
皆様方におかれまして
は、今後も引き続き本校
の教育活動について御理
解をいただき、御支援の
ほどよろしくお願い申し
上げます。

報告
進路支援部
久常宏 栄

同窓生の皆様におかれ
ましては、ますますご健
勝のこととお喜び申し上
げます。平素は本校の進
路指導につきまして、ご
支援をいただきありがと
うございます。

今年度は四月中旬から
五月末まで休校という波
乱の幕開けとなりました。
今年度から始まる大学入
学共通テストに加え、新
型コロナウイルス感染症
の影響による就職や受験
に関する日程変更および
行事の中止、マスクの着
用、手洗い消毒の励行、
ソーシャルディスタンス
を保つ等の新しい生活様
式のもと、生徒の進路保
障に対してどのように対
応していけばよいかを試
される一年でした。

けたいと考えています。
この「行学」で身に付け
させた力は、コミュニケ
ーション力、深く考え
る力、様々な視点から考
える力、論理的に物事を
考える力、課題発見解決
力、協働する力、プレゼ
ン力、実践する力、変化
に対応する力などです。
東日本大震災での教訓と
して自分で考え、判断す
る力が重要であると考え
ます。今年度は行学で培
った力をもとに進路実現
する生徒が増加していま
す。行学の内容は新聞等
にも多く掲載され、教育
専門誌「キャリアアガイ
ダンス」にも取り上げられ
全国に向けて発信してい
ます。

この状況下で本校が5
年前からスタートさせた
総合的な学習の時間「行
学」がより重要であると
感じております。これまで
に経験したことがない事
態にどう対処していけば
いいのかという探究課題
が目の前に広がっている
のです。生徒は自分たち
で考えて行動することを
継続して行きます。課題
見解決能力と口先で謳っ
ても実践がなければ絵空
事に終わってしまい、頭
でっかちの人間を作るだ
けです。本校では学力に
加えて社会で生き抜くた
めに本当に必要な力を

進学の部
合格者数

Table with 2 columns: University Name and Number of合格者数. Includes entries like 国立大学 (17016), 私立短期大学 (1), etc.

主な合格先()は人数

- List of universities and their student counts: 国立大学 (17016), 私立短期大学 (1), 公立短期大学 (8), etc.

就職の部
就職状況

就職内定数/希望者
専攻科 25/23名

就職内定先

- List of job destinations: 東和薬品(3), フジパンストアー株式会社, エフベーカーリーコーポレーション, etc.



《専攻科》

・県内 津山中央病院(7)、津山第一病院(5)、石川病院(3)、積善病院(3)、中島病院、希望ヶ丘ホスピタル(2)、岡山済生会総合病院、川崎医科大学総合医療センター

・県外 (京都) 済生会京都府病院 (大阪) 社会医療法人森之宮病院



看護科長 白石恵子

同窓会員の皆様におかれましては益々ご清勝にてお過ごしのことと存じます。いつも本校看護科・専攻科の教育活動に、変わらぬご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

本校看護科・専攻科ではこの度、五年一貫課程に移行してからの十五期生を送り出す運びとなりました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う世界的なパンデミックの中、国の緊急事態宣言発令により四月二十日から五月三十一日まで休校措置がとられました。このような厳しい一年の始まりではありましたが、看護科・専攻科の一年の様子についてご報告させていただきます。

四月、看護科一年生三

十六名が入学しました。コロナ禍の中での入学ではありましたが、看護師になりたいという夢を叶えるために、初めて取り組む専門教科の勉強にも一生懸命取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として「二密」を避けるため、計画されていたボランティア活動や、社会人講師による講演会など各種行事が中止となりました。その中でも、「手話講習」や「視覚障害者への支援法」の講習を通して、障害をもつ方への支援法を学びました。

一年生の看護臨地実習では病院の機能、医療に携わる他職種及び看護師の役割について見学実習を通じて学ぶことができました。これからも様々な体験活動を通して看護に必要な感性を育み、確実に看護師になるための歩みを重ねて欲しいと思います。

二年生は総合的な探究の時間「行学」として、ボランティアをテーマに一年間取り組む計画でしたが、今年度は殆どのボランティア活動が中止となりました。今後、自分のできる活動には何かあるかを考える機会を作っていくかと思っています。

十月には本校の第二体育館を会場に、第五十五回戴帽式を挙行していただきました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場を変更、参加者を戴帽

生とその保護者、教職員のみで行いました。式の開催も危ぶまれた中で行なわれ、生徒・職員一丸となり準備を進め、滞りなく式を終えることができました。戴帽生一同、看護の道を誠実に歩む決意を新たにしました。

看護科三年生は前半の三週間は看護臨地実習を校内実習で代替しましたが、後半三週間は実習病院で受け持ち患者さんを決めていただき実習させていただきました。

近況報告 食物調理科



食物調理科長 河本美喜

同窓生の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。本校食物調理科は設立

から三十三年が経ち、多くの卒業生の活躍の噂をいつも耳にし、頼もしく思っております。さて、今年度の生徒の全国での活躍についてご報告させていただきます。と、日本豆乳協会主催第七回豆乳レシピ甲子園で三年生の石坂日花里「かぼちゃの豆乳そぼろ煮」が豆乳おかず部門において優秀賞に輝きました。

また、昨年度末に行われた、一般社団法人日本即席食品工業協会主催インスタントラーメンオリジナル料理コンテスト二〇二〇において、現三年生の笠井萌々香「ピリ辛キンプ」が優勝しました。

東高同窓生寄稿文集



近況

平成十七年度 食物調理科卒

井上 麻美

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

私は食物調理科を卒業し、十数年後に母校の実習助手として勤務をさせていただきました。

校舎の雰囲気はとも懐かしいのですが、学生の時とは違う立場での出勤初日の緊張感は今でも忘れません。

不慣れな私に食物調理科長を始め、先生方から職務について優しく教えていただきました。

何度も助けて頂きました。

調理師を目指して一生懸命頑張っている生徒達と関わる中で、創造力や感性の豊かさに感心し、刺激を受ける充実した毎日でした。

生徒と共に笑い、喜び、悩み、涙した東高校での五年間は貴重な経験と人との繋がりを強く感じ、とても大切な時間を過ごさせていただきました。

ありがとうございます。退職して間もなく一年です。

「何事も自分でやってみる！」をモットーにウツデデツキを口にし、農作業のためにトラクタの運転を覚え、念願の第二子妊娠後も大型特殊の免許取得とパワフルな妊婦として農業にチャレンジしています。

息子と同様にハンデのある子供たちへ「食」の

近況

平成十年 衛生看護科卒

金光 加奈 (旧姓田淵)

私は結婚、出産を経て十年ぶりに看護の現場に戻りました。

二十数年前、津山東高校衛生看護科の戴帽式で味わった緊張感を思い出します。

「人の生命に関わる仕事、少しのミスも許されない」と当時の看護科の先生に言われた言葉が今も心に残っています。

医療や看護も進歩し、昔は良いとされていた事がダメになったりと変化しました。

多々あります。そして、十年のブランクを取り戻す為、初心にかえり学生時代に学んだ事の復習と新しい事を必死で学ぶ日々です。

学ぶことは患者さんの安全、安心、安楽に繋がります。

決して緩めてはいけません。と今になり実感しています。

年齢も四十歳を過ぎました。

今後は今までの人生経験を活かし、自分が理想とする看護を実践していきたいと思っています。

経験

平成九年卒 普通科卒

庄司 宏行

私はソーシャルワーカーとして働いています。

「何らかの問題(生きづらさ)があり自己解決困難な方を支援を行う」福祉職です。

本稿の依頼があった時、この仕事に就こうと思った動機の一つが浮かびました。

私の在学中は普通科に産業コースという選択クラスがありました。

このクラスでは、当時津山市で開催されていた車イス駅伝大会のサポートボランティアが、カリキュラムに組み込まれていました。

いわば強制参加、当時の私は「強制はボランティアではない」という反発心と併せ、「やらない善よりやる偽善だ」と未熟な使命感との、相反する感情を抱えたまま選手をサポートを行うこととなりました。

担当させてもらった選手から「なぜボランティアをしようと思ったの？」と尋ねられ、正直に話せるものでもなく、「困っている人を助けた」と思っていたんです。

「いつか、以来わだかまりが残りました。

あの選手は障害があれども困っていたのか、そしてなぜ自分はその言葉を発してしまっただのか、この経験も機となったのか、福祉を学ぶ事となり今の道へ進みました。

思えば、勝手に申し訳なく

恥ずかしい発言でしたが、今の仕事を考える上で大切にしていてる考えの一つとなつていきます。

楽しかった事も、気の乗らない事も、逃げ出した事も含めて、様々な経験の機会を与えてくれた高校生活が懐かしく、そして今では羨ましく思い返しています。

近況

平成十年普通科(体育コース) 北本 有作

同窓会報の原稿をどのお手紙を頂き、津山東高等学校を卒業して早くも二十数年が経過したのかと思つてるところです。

同時に高校生活での部活動・体育祭・フルマラソン等、在学中三年間の懐かしい記憶が蘇って来ました。

在学中には良き先輩・後輩・仲間には恵まれ、部活動で行っていた剣道を今でも続け、剣道教室での指導を通じて多くの子ども達と汗や涙を流しています。

しかし、昨年は「新型コロナウイルス」により、日々の生活や、生活の様式まで一変し、当たり前に行われていた行事等が悉く中止になりました。

また、それは津山東高等学校の生徒・先生も例外では無かったと聞いております。

私事となりますが、高校卒業後は消防官として勤務に当たり、平成二十一年から四年間岡山県消防防災航空センターという「ヘリコプター」を運行する部署へ出向して

ました。山岳や海難事故の救助活動や、大規模な山林火災の消火活動等を県内外問わず出動し、その中でも、平成二十三年三月に発生した「東日本大震災」により一瞬にして日常が無くなる、惨状を目の当たりにし「想定外」という言葉の中で懸命に救助活動等を行いました。

「新型コロナウイルス」の蔓延により、当たり前でなくなった事が、当たり前でなくなる。

「東日本大震災」のような大災害により日常が無くなる。このような、必ずしも個人では防ぐことができない事柄もあるでしょう。

しかし、普通が普通で無くなつた時に少しでも後悔しない為にも、私自身が今できる事を懸命に行い、日々の生活を送りたいと考えています。

甚だ簡単な、近況報告となりましたが、一日も早い新型コロナウイルスの終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

ことが目的ではありませんが、三年間お互いに切磋琢磨した仲間を讃え、各自が感謝の気持ちを持てることのできた発表会となりました。

進路につきましては、美作大学・中国学園大学の管理栄養士養成課程への進学をはじめ栄養士・製菓衛生師等の資格取得を目指して短大・専門学校に進学する生徒が半数で、就職においては、築地寿司清・資生堂パラー・ホテルニューアワジ・加賀屋・ザ・ブセナテラスなどに内定をいただき県内でもエフペーカリー・カフェ青山・ポンドール・旭東病院・中島病院・向陽台病院・フジパンストアーなど、地域での活躍に胸をふくらませる生徒もおり、このような不況の中でも調理師の資格を活用して就職出来るのは、卒業された先輩が頑張っておられるお陰であり、先輩方を目標に後輩が成長してくれることと期待しているところです。

今後にも社会に貢献する調理師の育成を目指し、職員一同力を合わせて取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げまして、近況報告とさせていただきます。



息子と同様にハンデのある子供たちへ「食」の



卒業後 教室にて

令和二年度 同窓会総会報告

總會及び懇親会の中止について
現在の新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢に鑑み、臨時役員会を開催して協議した結果、今年度の總會・懇親会の中止を決定いたしました。また合わせて令和三年度は、今年度の幹事団に令和三年卒を加えて開催することも決定いたしました。

總會の協議事項について
令和元年度 事業報告・決算報告・監査報告、令和三年度 事業計画・予算計画、役員改選

右記につきましては、令和二年四月二十一日に書面にて第一回役員会を開催、承認いただいております。

令和二・三年度の役員紹介

役職	氏名	卒業校	役職	氏名	卒業校
顧問	田原 晴雄	農業白鳥	副会長	大塚 人美	普通校分
	園田 哲郎	校長		有木 和枝	茂家庭東
名誉会長	山本 守	農業白鳥		吉川 洋一	普通東通
同窓会長	藤田 長久	農業野鏡		寒竹 保友	普通東通
	福田 久夫	農市業立		松岡みどり	食物東調
	佐々木 茂宣	農鏡業野		田淵有希子	衛生看護東
	杉山 和之	農市業立	久常 敦志	普通東通	
	秦野 邦男	農鏡業野	宇佐美 勝正	普通東通	
	大山 正志	農鏡業野	田淵 重光	鏡業東	
副会長	小椋 晶志	芸学立通田	監事	井上 麻美	食物東調

令和二年度年度 同窓会総会幹事団

○平成九年卒代議員

内田 晶子、岸本真紀子、葦川 照芳、片岡 夕佳、影山 高志、沼本 康子、鈴木めぐみ、難波 悟史、庄司 宏行

○令和二年度代議員

出水 清崇、藤森 悠菜、大倉 那菜、末澤紗弥佳、田中 颯稀、田淵 桜羽、村上 魁、上原 彩美、横部 亜依、松本 倫弥、中上 優花、吉原 芽生、木元 麻湖、永井 結子、岸本 達也、横山 魁

○令和三年卒代議員

牧原直太郎、仲田 梨玖、板倉 由奈、西村 美玖、有年梨里袈、北原 凜風、藤嶋 日菜、水島 鈴菜、高務 智宙、立石 大和、林 優希、和田 雪乃、中塚 遥香、岩崎 莉奈、小野夏月美、平尾 彩菜、松永 愛莉、右近 日愛、竹内 優菜

以上の方々に加え、令和三年度總會幹事団をお願いする平成十年卒代議員の方々にも参加をお願いします。ただし看護科については、専攻科卒業年時に代議員として参加する。

○平成十年卒代議員

山崎 睦、田淵 加奈、北本 有作、小山 和三、山本紀美子、藤長 理恵、日笠久美子

原稿募集について お願い

毎年、三月一日に発行しております同窓会報の原稿を皆様より募集しております。内容は、近況報告・体験談・高校時代の思い出・学校などに関する所感・エッセイや詩等…何でも結構です。写真の掲載もします。一月中旬くらいまでに左記までお寄せください。

〒七〇八一〇八二二

岡山県津山市林田二二〇〇

岡山県立津山東高等学校 同窓会事務局 宛

E-mail: tuhigasi@pref.okayama.jp

同窓会総会開催のお知らせ

来年度は、平成九年卒の方々を中心に平成九年卒・令和二・三年卒の幹事団で同窓会総会を開催いたします。日程は左記の日程で開催が予定され、準備も始められています。より多くの御参加をお待ちしています。

開催予定

日 時 令和四年一月三日(月)

十時三十分 同窓会総会

十一時三十分 懇親会

場 所

『鶴山ホテル』

岡山県津山市東新町二二四・四

TEL〇八六八一二五二二二二

当番幹事

平成九年卒・平成十年卒・令和二・三年卒

あなたは何年の卒業ですか？

毎年、同窓会総会の幹事団は、次年度卒業生にバトンタッチされています。令和三年度は平成九年三月卒業の方、令和三年度は平成十年三月卒業の方が中心となります。その前年には、準備・進行の仕方など知っていただくため、前年度の方と一緒に幹事団にも入っていただき、一緒にお手伝いしていただきます。

卒業の年を確認していただき、代表となつていただける方もいるので、それ以外の方もぜひ、ご協力ください。

注意

ここ数年、同窓会事務局や学校職員を名乗り、名簿の発行や同窓会を理由に住所や電話番号を聞いてくる電話があるようですが、現在、学校・同窓会ともそのような調査は行っておりませんので、どうぞご注意ください。よろしくお願いいたします。

令和元 (平成31)年度決算書

岡山県立津山東高等学校同窓会 (H31.4.1~R2.3.31)

一般会計

収入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	251,274	251,274	0	平成30年度より
入会金	990,000	975,000	△ 15,000	5,000×195名
雑収入	726	1	△ 725	預金利息、総会残金
計	1,242,000	1,226,275	△ 15,725	

支出の部

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
事業費	300,000	50,149 139,150 58,506	52,195	卒業記念品 (卒業証書カバー) 同窓会会報 総会補助、総会用紙代
会議費	10,000	0	10,000	
通信費	140,000	164,792	△ 24,792	総会・役員会案内 (葉書・切手・封筒)
事務費	30,000	11,638	18,362	保存用アルバム、祝儀袋、領収証用紙
設備費	30,000	0	30,000	
別途積立金	500,000	400,000	100,000	特別事業準備金
激励金	100,000	65,000	35,000	全国大会激励金 定期演奏会祝い
予備費	132,000	11,000	121,000	供花代
計	1,242,000	900,235	341,765	

残金	収入額	-	支出額	=	次年度繰越金
	1,226,275		900,235		326,040

特別事業準備金

収入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	7,100,000	7,100,000	0	
繰入金	500,000	400,000	△ 100,000	
雑収入	1,000	602	△ 398	
計	7,601,000	7,500,602	△ 100,398	

支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
特別事業準備金	7,601,000	0	7,601,000	
事業費	0	0	0	
計	7,601,000	0	7,601,000	

残金	収入額	-	支出額	=	次年度繰越金
	7,500,602		0		7,500,602

以上の通り報告します。

令和2年3月31日

西村那保枝

安藤 愛子

間違いなく正確に処理できており、間違いありませんでした。

令和2年4月1日

監事

秦野 邦男

田淵 重光

令和2年度予算書

岡山県立津山東高等学校同窓会 (R2.4.1~R3.3.31)

一般会計

収入の部

単位：円

項目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	326,040	251,274	74,766	
入会金	990,000	990,000	△ 10,000	5,000×196名
雑収入	960	726	234	
計	1,307,000	1,242,000	65,000	

支出の部

項目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
事業費	330,000	300,000	30,000	卒業記念品 会報 総会補助
会議費	10,000	10,000	0	総会・役員会世話人会
通信費	170,000	140,000	30,000	総会・役員会案内等
事務費	30,000	30,000	0	事務用品等
設備費	30,000	30,000	0	保存用HDD、プリンター等
積立金	500,000	500,000	0	特別事業
激励金	100,000	100,000	0	部活動等激励金
予備費	137,000	132,000	5,000	
計	1,307,000	1,242,000	65,000	

特別事業準備金

収入の部

単位：円

項目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	7,500,602	7,100,000	400,602	
繰入金	500,000	500,000	0	
雑収入	1,398	1,000	398	
計	8,002,000	7,601,000	401,000	

※科目間の流用は妨げない。

※今年度、特別事業準備金の支出の予定はありません。

全国大会出場おめでとう

陸上競技部



普通科



頑張れ!! 東高生!!

同窓会では、全国大会出場者たちに激励金を贈呈しています。

食物調理科



編集後記

今年度より、同窓会報のスタイル変更を決定。変更後、初めての会報を発行することができました。お忙しい中、原稿を執筆してくださった皆様には、この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

さて、今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による全国的な緊急事態宣言の発令・解除、そして緊急事態宣言の再発令へと、社会情勢が目まぐるしく変化の中で、「MUSIC」の「密」が選ばれるほど、様々な場面で感染対策が叫ばれる年となりました。

そして本校でも、四月から二ヶ月に及ぶ臨時休業後、教室を常時換気しながらの対面授業が再開しましたが、生徒が楽しみにしていた「東雲祭」をはじめ、多くの学校行事が中止・縮小を余儀なくされました。その中でも各科の生徒たちが、教職員とともに個々の夢の実現に向け、日々懸命に努力を続けております。

また、生徒の学びの権利を守るべく、更なるICT活用を目指して教員研修を行い、併せて来年度のGIGAスクール化に備えて、教室に無線アクセスポイントが設置されるなど、学校整備も進められています。

今後とも様々な変化への対応が求められますが、会員の皆様とのつながりを大切にしながら母校の発展のため、力を尽くしていきたいと思っておりますので、御指導・御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様の御健勝と御活躍をお祈り申し上げます。編集後記とさせていただきます。

(同窓会事務局)